

ほのほのだよ

今月は、童謡指導をしてくださっている筈川先生より朗読された本を紹介します。

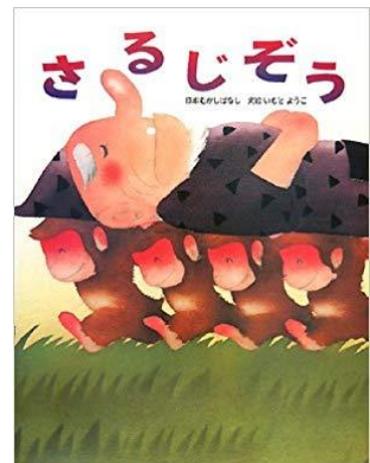
先月 13 日の「絵本とお話の会」では、今回紹介する絵本のほかに、「おむすびころりん」「まいったなあ」、歌「ぞうさん」「またね」がありました。小さなお友達も楽しめる素敵な会となりました。また、同じく先月 22 日は筈川先生が活動されている「ぐるうぶ観覧車」のおはなしライブにお邪魔してきました。そこでの絵本をいくつか紹介します。

～ 絵本とお話の会・おはなしライブより ～

「さるじぞう」(幼児クラス向け)

出版社：金の星 社
作・絵：いもと ようこ

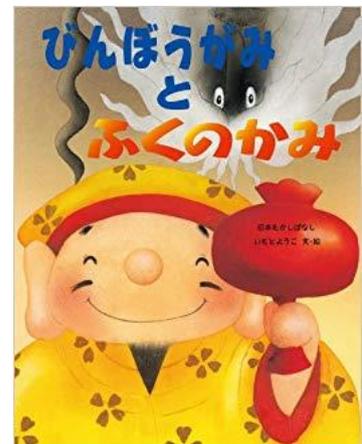
おさるさんたちが、おじいさんをおじぞうさまと思い込み、お供物をたくさんくれました。それを聞いた隣のよくばりおじいさんも、おじぞうさまのふりをします。ところが、さるたちにお堂へ運ばれる途中、くすぐったくて、おならをしてしまい、川へどぼーん！という日本昔話です。



「びんぼうがみとふくのかみ」(幼児クラス向け)

出版社：金の星 社
作・絵：いもと ようこ

働き者の夫婦は、いくら働いても、いくら働いても、暮らしは豊かになりません。天井裏に、「貧乏神」が住んでいたからです。そんな働き者の夫婦の家に「福の神」がやって来ることになりました。嬉しいことのはずが…とお話はすすみます。



「オレ、カエル やめるや」(幼児クラス向け)

出版社：マイクロマガジン 社
文：デヴ・ペティ
絵：マイク・ボルト
訳：小林 賢太郎

「オレ、カエルやめるや！」と息子が言います。「うさぎみたいに跳べるから、うさぎになる！」「それはできないよ。お前は耳が長くないだろう」とお父さん。「ぬるぬるしている所が嫌なんだー！」と…。結局、カエル君はどうなるのでしょうか？ゆかいなお話です。

